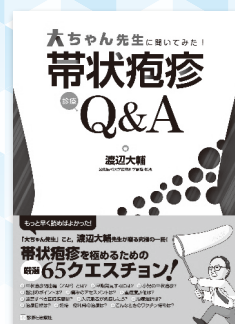


大ちゃん先生に聞いてみた！ 帯状疱疹診療 Q&A

渡辺大輔 著

評者 江藤隆史 (日本臨床皮膚科医会 会長/あたご皮フ科 副院長)



B5・228 ページ・フルカラー。
2024 年 5 月。定価 5,400 円＋税。
ISBN 978-4-7878-2584-1
診断と治療社刊

帯状疱疹は、すべての医療従事者が詳しく知っておくべき大切な疾患の一つです。なぜなら、帯状疱疹では、多くの場合に全身のどこかの痛みが先行し、患者は頭部が痛むなら脳外科、顔面なら眼科や耳鼻科・歯科、胸部なら循環器内科や呼吸器内科、腰腹部なら外科や消化器内科、四肢なら整形外科を受診します。片側性の痛みの診察では、ぜひ帯状疱疹の可能性も念頭に置いていただくと、大ちゃん先生は喜ばれることでしょう。かすかな紅斑や浮腫、水疱を認めたら、すぐに皮膚科へ紹介するか、大ちゃん先生のこの本を読まれた先生であれば、ご自身で帯状疱疹と診断して直ちに治療を始めていただきたいと思います。

この本の Q & A は全部で 65 ありますが、「Q34 帯状疱疹の治療目標は？」での大ちゃん先生の一言は、「帯状疱疹は早期診断、早期治療が鉄則です！」となっています。帯状疱疹の治療が遅れると、あの恐ろしい痛みが持続する帯状疱疹後神経痛(PHN)に移行する可能性が高まってしまうからです。PHN については「Q7 帯状疱疹後神経痛(PHN)とは？」で詳しく解説されており、大ちゃん先生の一言でも、「長期にわたって痛みが持続します」と述べられています。また、発疹がなくても帯状疱疹を強く疑うケースは少なくありません。大ちゃん先生は皮疹の

ない帯状疱疹についても素敵な Column を記載しています。

本書では、およそ想定される帯状疱疹に関する質問が 65 の Q & A で網羅されており、加えてウイルス学者である大ちゃん先生の味のある Column と Coffee Break が各所にちりばめられています。また、早期診断・早期治療もさることながら、最近は帯状疱疹の予防が世界各国で叫ばれるようになり、わが国の地方自治体でも 50 歳以上の人に対してワクチンによる予防が推奨されてきています。かかりつけ医の先生方のところに帯状疱疹の相談に来る患者さんは今後ますます増えていくことと思います。しっかり、そして楽しく面白く理論武装をするために、大ちゃん先生のこの本は最高のバイブルとなることでしょう。

帯状疱疹は、職場でトラブルが発生したときや、家族の看病にかかりっきりで休みがとれず、病院に行く余裕すらないときなどに発症しやすい、まさに「泣き面」のような病気ですので、早期診断・早期治療が難しい場合も少なくありません。この本で帯状疱疹のことをしっかり勉強してくださることを私も大ちゃん先生こと渡辺大輔教授も切に願っています。